

報道資料

地方独立行政法人 奈良県立病院機構
法人本部事務局 事務局長 嶋田
(電話 0742-81-3400)
西和医療センター 事務部長 木村
(電話 0745-32-0505)

奈良県立病院機構 西和医療センターの産科診療 における総合医療センターとの医療連携について

平素は、奈良県立病院機構の運営に、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
さて、奈良県西和医療センター（三郷町三室）におきましては、一時中止していました産婦人科診療を平成27年に再開し、西和地域産婦人科医療の充実に努めてきたところです。

このたび、西和医療センターと同じく当機構が運営する奈良県総合医療センターが、昨年5月に奈良市七条西町に移転開院したこと等も踏まえ、“**これまで以上に母子の安全・安心を高め、かつ質の高い産婦人科医療を提供する**”ため、特に産科分娩につきまして、西和医療センターと総合医療センター間での連携を一層進めていくことになりました。

具体的には、**妊婦健診・産後健診については、これまでどおり西和医療センターで継続**いたしますが、**分娩につきましては、奈良県総合医療センター周産期母子医療センターが担当**する体制に移行いたします。

総合医療センターの周産期母子医療センターは、LDR（陣痛分娩回復室）、MFICU（母体・新生児集中治療室）、NICU（新生児集中治療室）、GCU（継続保育室）等、最新の設備を備えているほか、総合医療センターの医師・助産師が、西和医療センターでの診療情報（カルテ）を即座に確認できるように、電子カルテ参照システムを整備しました。

5月末より西和医療センターでの分娩を予約いただいている方への説明を開始するなど、円滑な移行に向けた準備を進めており、**令和元年8月1日（木）をもって、新しい診療体制に移行**することを予定しています。

引き続き分娩予定者、ご家族の皆様にご不安のないよう丁寧な説明に努めてまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ご説明・ご相談 担当窓口

奈良県西和医療センター 患者支援センター

電話0745-32-0505（内線2119）

窓口対応時間 平日 午前8:30～午後5時15分

奈良県立病院機構における

分娩体制の変更について

奈良県西和医療センターは、平成 27 年に産婦人科診療を再開し、地域医療への貢献に努めて参りました。このたび奈良県立病院機構は、“これまで以上に母子の安全・安心を高めるために、より質の高い産婦人科医療を提供する”ことをめざして、当センターと奈良県総合医療センターの医療連携を検討いたしました。

その結果、令和元年 8 月 1 日（木）より当院での分娩業務を休止し、奈良県総合医療センター（奈良市七条西町二丁目 897-5）の周産期母子医療センターが分娩を担当することになりました。なお、妊娠中、産後および新生児の健診は今まで通り当センターで実施いたします。

奈良県総合医療センターの周産期母子医療センターは、LDR（陣痛分娩回復室）、MFICU（母体・新生児集中治療室）、NICU（新生児集中治療室）、GCU（継続保育室）を備えており、産科および新生児科のスタッフが従事しています。また、奈良県総合医療センターの医師および助産師が、西和医療センターでの皆様の診療情報を確認できるオンライン電子カルテシステムを導入いたしました。このシステムにより、妊娠中の緊急時や分娩に際して迅速に対応することが可能になりました。

今後も、奈良県西和医療センターでは他科と連携しながら妊婦健診、産後健診および新生児健診を充実させて参ります。なお、他施設での健診および分娩をご希望される方には個別に対応させていただきますので、ご相談下さい。なお、婦人科診療につきましては従来通り継続いたします。

以上、分娩体制の変更についてのご質問等がございましたら、北病棟 3 階産科外来の看護師もしくは 1 階患者支援センターへお問い合わせ下さい。

よろしくお願い申し上げます。



担当窓口：
〒636-0802
奈良県生駒郡三郷町三室 1 丁目 14-16
奈良県西和医療センター
電話 0745-32-0505（平日 8:30~17:15）
対応窓口：患者支援センター（内線 2119）
（折り返し担当者からご連絡致します）

令和元年 5 月 28 日

地方独立行政法人奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター 院長

<説明用リーフレット>



地方独立行政法人 奈良県立病院機構

奈良県総合医療センター

Nara Prefecture General Medical Center

周産期母子医療センター



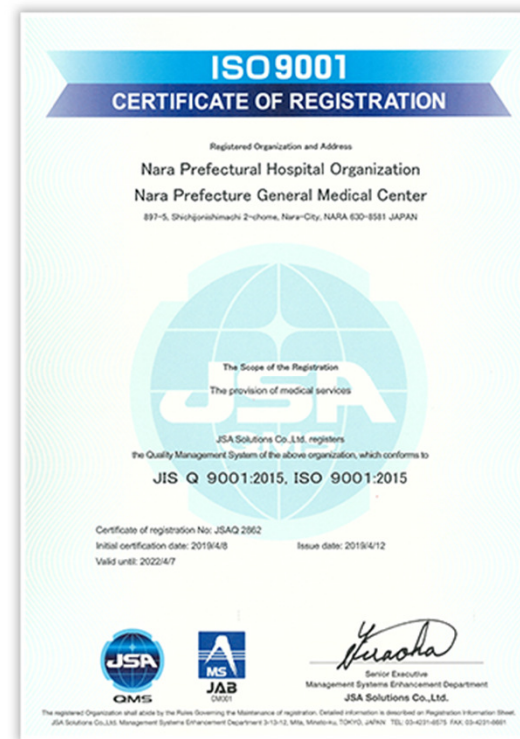


ISO 9001 認証取得について

奈良県総合医療センターは、
安全で良質な「医療サービス」を提供するため、
平成31年4月8日付けで国際基準を満たした
品質マネジメントシステムであるISO 9001外部認証を取得しました。

これは、奈良県内の総合病院では初めての認証です。

奈良県総合医療センターは、
職員全体でPDCAサイクル(Plan - Do - Check - Act)による、
継続的な医療の質の改善活動に取り組んでいます。
患者さんにはより一層安心で満足いただける医療を提供し、
地域社会に貢献します。



奈良県総合医療センター
〒630-8581 奈良市七条西町2丁目897-5
TEL.0742-46-6001 FAX.0742-46-6011

Webサイト <http://www.nara-hp.jp/>



周産期センターFacebookでは周産期センターの情報を定期的に発信しています

車で来られる方へ

〈大阪方面から〉

- ・ 第二阪奈有料道路中町ランプ下り出口右折(有料道路を利用される場合)
- ・ 阪奈道路三碓ICから県道7号線(枚方大和郡山線)ハモイケ橋東詰交差点を左折

〈学園前方面から〉

- ・ 県道7号線(枚方大和郡山線)ハモイケ橋東詰交差点を左折

〈奈良方面から〉

- ・ 国道24号西九条町南交差点から県道7号線(枚方大和郡山線)城町中交差点を右折

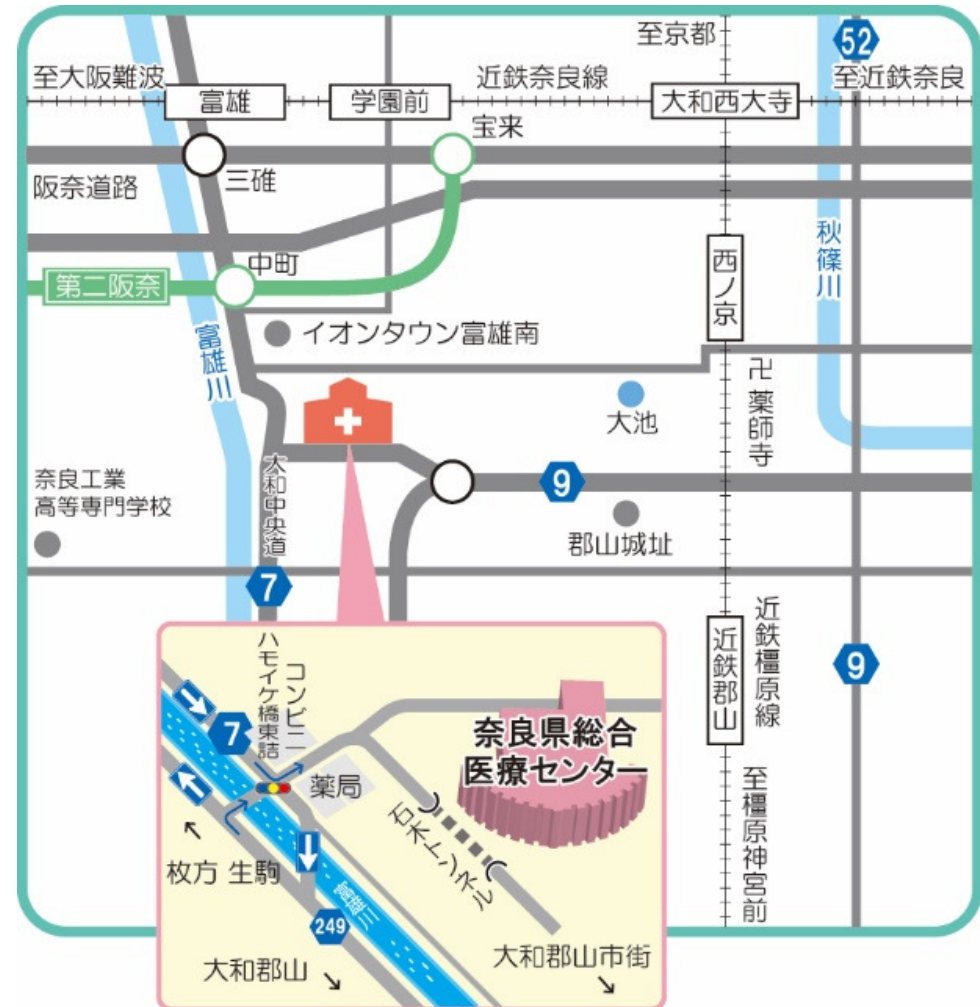
〈郡山方面、国道25号線から〉

- ・ 国道25号今国府町交差点から都市計画道路大和中央道(大和郡山環状線)を北進

バスで来られる方へ

[路線バスのご案内\(PDF\)](#)

- ・ 近鉄学園前駅～ 所要時間25分程度
- ・ 近鉄西ノ京駅～ 所要時間15分程度
- ・ 近鉄郡山駅 ～ 所要時間10分
- ・ 近鉄奈良駅 ～ 所要時間35分
- ・ JR奈良駅 ～ 所要時間30分





駐車場料金

一般利用者（見舞・一般）	1時間ごと 100円（1時間以内無料）
外来患者の方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外来診療に来院された方 ・ 保健指導・医療相談に来院された方 ・ 診断書や証明書の交付申請または受取に来院された方 ・ 入退院の当日に駐車された方 ・ 献血（手術用血液を含む）にいられた方 ・ 身体障害者手帳をお持ちの方 	無料 <p style="background-color: #ffe6e6; padding: 5px; margin-top: 10px;">無料扱いの方は次の手続きが必要です</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外来診療にいられた方は、料金精算時に駐車券を「料金計算受付窓口」にお示しください。 ● 保健指導・医療相談・献血・診断書や証明書の受取などにいられた方は用務先で駐車券をお示しください。 ● 身体障害者手帳をお持ちの方は、用務先で身体障害者手帳と駐車券をお示しください。

産婦人科病棟のご案内

3階東病棟（産科30床・婦人科13床・乳腺外科5床・女性共用1床）

当センターは奈良県唯一の地域周産期母子医療センターに認定されています



産婦人科病棟のある3階東病棟は、センター入院棟3階にあります。産婦人科混合のレディース病棟ですが、周産期母子医療センターと産科病室はユニット化されています。周産期母子医療センターと産婦人科外来は外来棟3階にあり、隣接しています。同じフロアにNICUと小児病棟があります。

□2018年度分娩実績

分娩件数 703件 うち帝王切開 223件(32%)
母体搬送 155件

□2019年度診療・看護体制

産婦人科医師 16名 助産師 28名 看護師 13名

- 産婦人科医師、新生児科医師は夜間休日も1名以上が常在しています。
- 日勤は10～14名、夜勤は5～6名の助産師・看護師が勤務し、安全・安心な看護体制をとっています。
- 日本助産評価機構が認定したアドバンス助産師が8名、国際ラクテーションコンサルタントの資格試験に合格した助産師が2名が在籍し、専門的な助産ケアを提供しています。



周産期母子医療センターのご案内

3階東病棟（LDR3床・MFICU6床）



- 周産期母子医療センターにはLDR（陣痛分娩室）3室、MFICU（母体胎児集中治療室）3室があり、LDRでは分娩開始から原則産後1日目まで移動することなく、ゆっくり過ごしていただけます。
- MFICUでは24時間365日母体搬送を受け入れています。NICU（新生児集中治療室）も隣接しており、必要時は新生児科医師が分娩に立ち会い迅速に対応します。
- 分娩は赤ちゃんのお父さん又はご家族おひとりのみ立ち会いができます。周産期センターには各部屋個別のBGM装置が整備されており、ご希望の音楽を流しながらリラックスしてすごしていただけます。
- 分娩準備教育として母親学級を妊娠前期（原則第1水曜日）と後期（原則第2水曜日）に1回ずつ、ファミリー教室を後期に1回（原則第3土曜日）に開催しています。

入院室のご案内

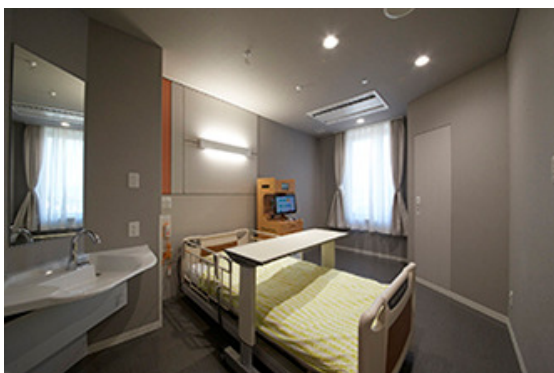
3階東病棟産科24床（4床室4部屋 個室8室）



4床室



4床室の洗面コーナーとトイレ



B個室（1日9,720円）

- ・病室はすべて南側に面し、4床室でも窓からの採光が得られます。
- ・4床室、個室共に洗面台、トイレ、シャワー室を完備しています。
- ・消灯は22時です。
- ・面会は平日・休日とも14時～20時です。
感染防止などの観点から中学生未満のお子様は病室には入れません。
（ロビーやデイコーナーで面会して頂けます）
- ・産後の面会は休息や育児を優先するために、ご家族のみにさせていただきます。
- ・退院は経膈分娩が産後5日目、帝王切開が術後6日目です。ただし、医師の指示によります。退院は午前中をお願いしています。



☆当センターでは母子の愛着形成と育児技術の習得のために母子同室制をとっています。また、母乳育児を推進しています。ただし、赤ちゃんの状態やお母さんのお疲れによっては、新生児室で赤ちゃんをお預かりすることもできます。



☆新生児無呼吸の早期発見や対応のために、ご希望の方には、生後3日まで赤ちゃんに呼吸心拍モニターを使用しています。（無料）
☆入院中に沐浴指導と退院指導を実施しています。
☆ご希望の方には産後2週間健診（自費）を実施しています。

施設・アメニティのご案内



コンビニ(セブンイレブン)



1Fカフェ(ラ・ポーズ)



7Fレストラン(桃谷樓 med7th)



- ・産後にお祝い膳を提供しています。
 - ・夕食は主菜を2種類から選択できます。
 - ・朝食は主食と飲み物を選択できます。
 - ・おやつをお出ししています。
- (※いずれも治療食の方は除きます)



お産セットを準備していますので、身軽に入院が可能です。
足りなくなっても病棟内に自販機があります。